

## 全中学校対象 AED訓練

吉賀 来月までに7回開催



救急救命士（右端）の指導を受けながらAEDの操作方法を学ぶ生徒

自動体外式除細動器（AED）を使った救急救命訓練の講座が17日、吉賀町で始まった。

この日、同町七口市の町林業総合センターであった講座には吉賀町内の全4中学校の1、3年生と教員計21人が参加。同協会の救急救命士たち7人から、130人を対象に、六日市病院（同町）の医師たちでつくるNPO法人「六日市ECC協会」が、来月まで計7

回の講座を開く。

いるとの想定で、AEDのパッドをマネキンに張るなどして、操作方法を習得した。

同協会は若いころから救命法を身に付けてもらうため、昨年度から町教委と協力して全中学校対象の講座に

取り組んでいる。齋藤孟君（12）は「思ったよりAEDは操作しやすかった。万が一の時には、習ったことをしっかり生かして人を助きたい」と話していた。

（江川裕介）